

2025
第70回 埼玉母親大会
第62回 比企地区母親大会

生命を生みだす母親は 生命を育て 生命を守ることをのぞみます

＊ 5月24日(土) 13:30～16:00 受付開始 13:00

＊ 国立女性教育会館(ヌエック) (武蔵嵐山駅から徒歩15分)

＊ 記念講演

「ジェンダー平等を実現するために 私たちができること」

太田啓子さん 弁護士

プロフィール：2002年弁護士登録
(神奈川県弁護士会湘南合同法律事務所)
／日本弁護士連合会両性の平等に関する
委員会委員、神奈川県男女共同参画
審議会委員等経験／一般民事事件、家
事事件(離婚等)を多く扱う。10代の息
子2人の母／著書『これからの男の子
たちへ「男らしさ」から自由になるた
めのレッスン』(大月書店)『いばらの
道の男の子たちへ』(共著・光文社)『五
十歳からの性教育』(共著・河出新書)



当日のプログラム

- ◆ 13:00 受付
- ◆ 13:30～16:00 全体会 (オンライン配信)
文化行事／埼玉母親大会70年を振り返って(スライド)
東松山太鼓サークル「松っ鼓」の演奏
記念講演／太田啓子さん



第70回日本母親大会 in東京
2025年9月28日(日)分科会
29日(月)全体会

※オンライン申し込みしめきり 5月9日(金)
※保育申し込みしめきり 5月15日(木)
※会員券1000円 事前にお求めください

《共催》第70回埼玉母親大会実行委員会・第62回比企地区母親大会実行委員会

《後援》埼玉県、東松山市・同教育委員会、吉見町・同教育委員会、鳩山町・同教育委員会、ときがわ町・同教育委員会、嵐山町・同教育委員会、滑川町・同教育委員会、小川町・同教育委員会、川島町教育委員会

《連絡先》埼玉母親大会連絡会 さいたま市浦和区仲町2-14-11 ゆないてい浦和 TEL/FAX 048-822-1817

母親が変われば社会が変わる！

母親運動のあゆみは日本の女性運動のあゆみです

埼玉母親大会のあゆみ

母親・女性が手をつなぎ、「核戦争から子どもを守りましょう」と1956年に第1回を開催してから、毎年「埼玉母親大会」を開き、子育て・教育・くらし・平和 など様々な母親・女性の願いを県に届け、保育所・高校 増設など貴重な成果をあげながら、69年、戦争放棄の平和憲法にかさね、母親運動をあゆみつづけてきました。

母親大会のはじまり 核戦争から子どもを守ろう

1954年、アメリカの水爆実験で、マグロ漁船員の久保山愛吉さんが亡くなりました。広島・長崎につぐ3度目の被爆に母親たちは怒り、平塚らいてうさんら5人は全世界に向け「原水爆禁止のための訴え」を送り、

1955年スイスのローザンヌで世界母親大会開催が決定。それに先立ち、6月、第1回日本母親大会が東京で開かれ、日本各地の炭坑や農村からも1円募金などで送りだされた2000人の母親が集まりました。世界大会に河崎なつさんを団長にあらゆる分野から代表を選び、14人が参加しました。幅広い母親運動の出発点です。

帰国後の報告会は、全国各地で数千回開かれ、各地に母親運動が広がりました。母親・女性たちの願いをかがね、貴重な成果を上げながら69年余をあゆみつづけてきました。世界母親大会によせられたギリシャの詩人ペリディス夫人の詩の一節「生命（いのち）を生みだす母親は生命を育て生命を守ることをのぞみます」は、今日まですべての母親・女性の心をとらえ、連帯のスローガンになっています。

文化行事

東松山太鼓サークル「松っ鼓」

松っ鼓は1999年に民族歌舞団『荒馬座』公演の地域実行委員会を取り組む中で生まれたサークルです。会社員、教員、保育士などなど太鼓好きな仲間が集まり、活動を続けています。

松っ鼓らしさを表すコロコロ節とともに25年、さらに楽しみたいと思います。

♪松葉がいくつも手を繋ぎ コロコロ輪っかになりました あっちへコロコロトゲが取れ こっちへコロコロ柔らかく カラダもこころもコロコロ 輪っかが広がりまーつっこ♪



《国立女性教育会館(ヌエック)》

武蔵嵐山駅より徒歩15分

所在地：比企郡嵐山町菅谷728

TEL：0493-62-6711

